



令和8年2月17日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

十勝地区農業協同組合長会 デジタル農学寄附講座
「令和8年度デジタル農学基礎プログラム」の募集について

デジタル技術を活用したスマート農業の研究と人材育成を通じて、地域農業の発展と持続可能性向上を目的に令和7年度に設置した「十勝地区農業協同組合長会 デジタル農学寄附講座」の一環として、十勝地区農業協同組合長会と帯広畜産大学の共催による「デジタル農学基礎プログラム」を令和8年度も4月より実施いたします。

本プログラムは、デジタル・スマート農業技術の普及・指導に貢献できる人材育成を目指し、座学講習（32時間）と視察研修（12時間）を1年間にわたり学ぶプログラムです。令和8年度は受講対象を拡大し、十勝管内JAご所属の組合員や職員の方々以外に、行政や指導研究機関等にご所属の方も参加いただくことが可能となりました。

つきましては、下記のとおりプログラムの募集を、広くご周知いただけますと幸いです。また開講式も下記のとおり実施いたしますので、取材についてご協力をお願いいたします。

記

◆デジタル農学基礎プログラム概要

1. 対象および定員

1) 対象 デジタル・スマート農業技術に関心があり以下に所属する方

- ・十勝管内JAの組合員や職員
- ・行政および指導研究機関等

2) 定員 45名程度

※応募多数の場合は、十勝管内JA組合員および職員の受講を優先とし、選考のうえ受講を決定いたします。

2. 開講期間 令和8年4月14日（火）～令和9年2月16日（火）

※詳細なカリキュラムスケジュールは別添のとおり

3. 講義形式 座学講義：対面とオンラインによるハイブリッド
観察研修：対面
4. 受講料 5万円（税込み）
※オンラインで受講される場合、通信料は各自でご負担ください。
5. 申込方法 志願書に必要事項を記載のうえ、メールにてお申込みください。
※志願書は以下のサイトからダウンロード可能です。
URL : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/ccae/event/12604>

【提出先】

帯広畜産大学教務課社会人教育係
メール：rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

6. 申込期日 令和8年3月16日（月）まで

◆デジタル農学基礎プログラム開講式

1. 日 時 令和8年4月14日（火） 13時30分～14時20分
2. 会 場 帯広畜産大学 講義棟5番講義室（予定）
3. 開催方法 対面とオンラインによるハイブリッド

※開講式閉会後、14時30分より同会場でプログラム初回講義を実施いたします。

講 義 名：十勝型デジタル・スマート農学概論
講 師：帯広畜産大学 特任教授 佐藤 穎穂

【お問い合わせ先】

帯広畜産大学 教務課社会人教育係
担当：坂本
電 話：0155-49-5325
メール：rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

スマート農業技術の知識・技術を得て、
農業王国十勝の生産基盤強化を担うトップランナーへ

十勝地区農業協同組合長会 デジタル農学寄附講座

デジタル農学 基礎プログラム

十勝の大規模農業におけるスマート農業の普及拡大を目的に、専門家による社会人教育プログラムを開講し、
現場で活用可能な実践的知識を習得して「デジタル農業」を指導・推進できる人材育成を目指します。

講義・講習会

デジタル・スマート農業
技術の基本原理の理解と
体系的知識の習得を目指
します。

研修時間 **32 時間**

視察研修

デジタル・スマート農業
技術を導入している農家
や団体を視察し、取り組
みの効果や課題などの理
解を目指します。

研修時間 **12 時間**

会 場

帯広畜産大学

形 式

対面およびオンライン

※視察研修は対面のみとなります。

定 員

45名程度

※応募多数の場合は十勝管内 JA 組合員および職員の
受講を優先とし、選考のうえ受講を決定いたします。

受講料

5万円 / 名（税込）

修了要件

科目全体の**8割以上**の出席

※要件を満たされた方には、修了証書を交付します。

申込期限

3/16 月

必着

2026
4/14

2027
2/16

開講期間

内容紹介

本プログラムで学習する内容を一部ご紹介します。

スマート農業の概要と要素技術の活用

欧米で始まった精密農業の概念や現状を紹介し、土壤・作物の生育分析や可変施肥等、十勝の大規模農業で利用できる農業生産や経営技術の要素について学びます。



農業技術の伝承と新たなものづくりの手法

十勝農業が始まって150年。その中で養われてきた農業技術を考え、今後のスマート農業に期待されるICTやAI等のコンピュータ技術、農業機械メーカー等の最新のものづくりの現状について学びます。



農作業・圃場データの利活用

十勝農協連では営農支援のTAFシステムを提供しています。また、車両の運行や農作業、気象、作物生育等のデータの収集を行っており、これらの農作業データの連携と活用についての基礎知識を習得します。



デジタル農業 フィールドワーク

ロボットトラクタやドローン等の基礎知識を習得し、農業の生産性を向上させるための実証・実装に向けて大学、農業団体、企業等と連携して実践的な知識や技術の習得を行います。



応募資格

デジタル・スマート農業技術に関心があり以下に所属する方
・十勝管内JAの組合員や職員
・行政および指導研究機関等

応募方法

志願書に必要事項を記載のうえPDFファイルに変換しメールにて申込先へ提出してください。
※志願書は所属ごとに様式が異なるため、詳細は募集要項をご確認ください。様式は専用HPからダウンロードが可能です。



HP はこちら

問合せ・申込先

帯広畜産大学 教務課 社会人教育係 E-mail : rec_kyoumu@obihiro.ac.jp

共催：帯広畜産大学 十勝地区農業協同組合長会
協力：北海道十勝総合振興局